

## 一、造機、製罐の要求提出

三菱に於て電機部が蹶起して争議の渦中に投じたる十一日、一方川崎造船所に於ては各工場職工全部午前七時までに出勤せるも、作業するもの稀にして大部分の職工は工場内の此處彼處に集團を作りて労働歌を高唱し或は慷慨悲憤の演説を試みる等熾に氣勢を添へたり。各罷業團幹部は此日の行動に關し協議を重ねし結果、午前中は例に依りて示威運動を行ふ事となり、午前八時半電正會の伊藤友次郎氏を總指揮者とし造船部の七千人を先頭とし造機、電氣の順序にて本工場全部一萬三千の大行列を以て繰出したり。「團結は最後の勝利なり」「資本主義を打破れ」等の旌旗どよめきの中に翻れり。大行列は先づ川崎本社の前にて大喊聲を擧げ夫れより電車筋に沿ひて驛前より相生橋に出で榮町筋の各新聞社を訪れ、元町通より小野中道筋を経て脇濱町なる川崎葺台工場を訪ひたるが、折柄同工場内作業中の職工團も之に應じて喊聲を擧げたり。行列は更に元町筋を練りて正午より午後一時半迄の間に全部本工場に引揚げたり。

同日兵庫工場に於ても各部の職工全部入場せるも一般に怠業状態を持續し各工場共形勢暗澹たるも